

回覧

MATSUZAKI KEN 松崎健

— 窯艶 健の陶表現 —

2025年 10月5日[日] ↓ 2026年 1月12日[月・祝]

〔年末年始の休館〕 2025年12月26日(金)～2026年1月2日(金)

開館時間…10月、11月／9時30分～17時(入館は16時30分まで) 12月、1月／9時30分～16時30分(入館は16時まで)
休館日…月曜日(祝日の場合は翌日)、11月5日(水)※11月4日(火)は開館

入館料…大人600円(550円)／小中学生300円(250円)※(内は20名以上の団体／65歳以上は300円(要証明))

主 催…益子町文化のまちづくり実行委員会 益子陶芸美術館

後 援…下野新聞社 とちぎテレビ 栃木放送 エフエム栃木 もおか新聞 nms

益子陶芸美術館

栃木県芳賀郡益子町益子3021
TEL:0262-721755
www.mashiko-museum.jp



《紫栴茶壺》2025(令和7)年





- 1 窯変灰被大壺 2013(平成25)年
- 2 窯変灰被扁壺 2021(令和3)年
- 3 呉須地灰被瓢花器 2024(令和6)年
- 4 黄瀬戸香炉 2008(平成20)年
- 5 白鷺鍋茶盤 2014(平成26)年
- 6 志埜茶盤 2024(令和6)年

- 1 Yohen natural ash glaze vase
- 2 Yohen natural ash glaze flat vase
- 3 Cobalt natural ash glaze flower vase
- 4 Kisetto incense burner
- 5 Faceted white tea bowl
- 6 Shino tea bowl

松崎健(1950-)は東京に生まれました。玉川大学芸術学科では陶芸を専攻し、卒業後は益子の島岡達三に師事します。1977年に益子に築窯し独立後は、それまでの作風から離れ独自の作風を求め模索し、現在まで作陶に励んでいます。織部、志埜、黄瀬戸といった茶陶を多く制作する松崎は、窯変によって作品に生まれる表情を大切にしています。かつて、桃山時代の茶陶は薪窯で焼成されました。それを目指した松崎も薪窯焼成に挑戦するようになり、その高い焼成技術から生まれる作品は国内外で高く評価されています。イギリスやアメリカにおいて、現存する日本人陶芸家の中で最も有名な作家の一人でもあります。薪窯やガス窯を自在に扱い、うつわを彩る窯変や薪窯だからこそ誕生する灰被、そして新たな試みとして手がけた紫埜——。65点のうつわに宿る美しさを見つめ、再認識する機会となれば幸いです。

Ken Matsuzaki (1950-) was born in Tokyo. He majored in ceramics at Tamagawa University's Department of Art, and after graduating, he studied under Tatsuzo Shimaoka in Mashiko. In 1977, he built his own kiln in Mashiko and became independent, departing from his previous style and searching for his own unique style, which he continues to pursue to this day. Matsuzaki produces many tea ceramics such as Oribe, Shino, and Kisetto, and values the expressions that arise in his works through kiln changes. In the past, tea ceramics from the Momoyama period were fired in wood-fired kilns. Matsuzaki also began to challenge himself with wood-fired kiln firing, and his works, born from his high firing techniques, are highly regarded both domestically and internationally. He is also one of the most renowned Japanese ceramic artists currently active in the UK and the US. Mastering both wood-fired and gas kilns, he explores kiln changes that adorn his vessels, the ash glazes unique to wood-fired kilns, and his latest endeavour, the purple Shino style. We hope these exhibition offers an opportunity to rediscover the beauty inherent in his vessels.

イベント

一般社団法人茶道裏千家淡交会栃木県支部による記念茶会

■日時／10月18日(土)、19日(日)

●10:30～11:10 ●11:15～11:55 ●13:30～14:10 ●14:15～14:55

■会場／益子陶芸美術館敷地内 旧濱田庄司邸

■料金／事前予約1,500円(当日2,000円) 参加者1名につき展覧会チケットを1枚進呈

10月10日(金)よりTELにて受付 TEL.0285-72-7555(益子陶芸美術館) 受付時間／開館日の9:00～17:00

作家によるギャラリートーク

■日時／10月26日(日) 14時から

■会場／益子陶芸美術館 展示室

※要展覧会チケット、予約不要

2階展示室 スポットライト

「宇佐美朱理 記憶された想い」

■期間／2025年10月28日(火)～2026年1月12日(月・祝)

※本チケットで、宇佐美朱理展、世島喜平館もご覧いただけます。

次回展のご案内

「金重有邦 土のコトダマ」

2026

3月8日(日)～5月17日(日)

※今後の状況により展覧会予定に変更が生じる場合がございます。

最新情報は当館ウェブサイト・Facebook・X・Instagram等でご確認ください。

Access

益子陶芸美術館

Mashiko Museum of Ceramic Art

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021

TEL.0285-72-7555

www.mashiko-museum.jp

アクセス：【バス】東武宇都宮駅(西口1番バス乗り場)、JR宇都宮駅(西口14番バス乗り場)から関東バス益子行、または秋葉原駅より茨城交通高速バス「関東やきものライナー」笠間・益子行、益子陶芸美術館入口下車徒歩約2分。【鉄道】JR小山駅から水戸線「下館」駅下車、下館駅から真岡線「益子」駅下車徒歩約25分。【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道「桜川筑西」ICから約20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道「真岡」ICから約25分。

※運行状況は各交通機関にご確認ください。 ※陶器市期間中、美術館の駐車場はご利用いただけません。

